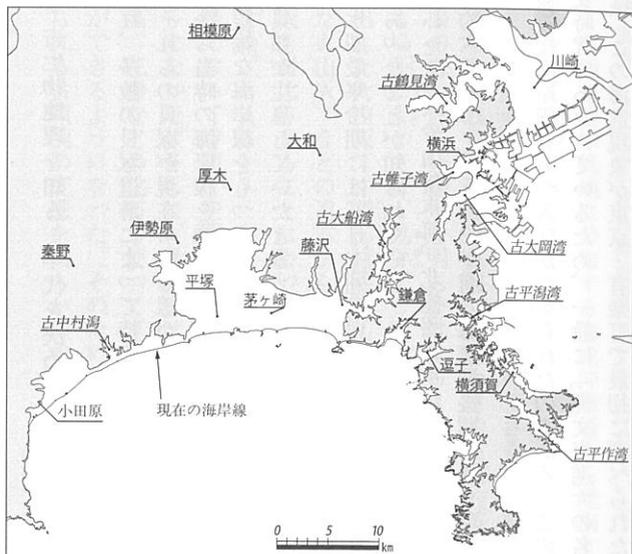


《目次》

はじめに

I	貝からのメッセージ……………	9
1	三つの情報	10
2	南関東における海岸線変化の研究史	16
3	海成沖積層の貝化石	19
4	貝類群集と時代的分布	34
II	相模湾沿岸の海岸線の変遷……………	43
1	相模川低地にみられる縄文海進最盛期の海岸線	44
2	約六五〇〇年前に大磯丘陵から突然に消えた古中村湾	47
III	東京湾沿岸の海岸線の変遷……………	59
1	多摩川・鶴見川低地の発達史	60
2	貝類群集からみた金沢八景平潟湾の変遷	82
IV	房総半島南端—サンゴ礁が発達する暖かな縄文の海……………	95
1	館山湾周辺に分布する沼の化石サンゴ礁	96
2	沼サンゴ層の調査のきっかけ	104
3	沼サンゴ層を調べる	107
4	沼サンゴ層形成時の高海面をみつける	111
V	南関東における海進最盛期以後の地殻変動……………	117
1	三浦半島	120
2	横浜港の周辺	127
3	相模川低地	128
4	大磯丘陵	131
VI	伊勢湾知多半島で明らかになった縄文海進の記録……………	135
1	縄文早期中葉の貝塚遺跡の発見と低海面	136
2	縄文早期末葉から前期にかけての貝塚遺跡と高海面	142
3	縄文中期から後期の低地遺跡と海面の小規模な昇降振動	144
VII	温暖種からみた日本列島沿岸の環境の変化……………	149
1	温暖種とは	150

I 貝からのメッセージ



約6000年前の縄文海進期の海岸線(神奈川県立生命の星・地球博物館, 2004)

あとがき
 図版出典リスト・主要参考文献

- IX
- 1 ハワイ諸島における完新世の高海面の発見……………207
 - 2 カウアイ島の沖積低地を調べる……………212
- VIII
- 日本列島で明らかになった温暖種の消長……………187
- 1 日本列島周辺の温暖種の消長……………188
 - 2 温暖種からみた完新世における日本列島沿岸の海況変化……………190
 - 3 完新世における黒潮の変動……………194
 - 4 北海道沿岸に記録されていた五〇〇〇年前以降の対馬海流の動き……………200
- 2 南関東における温暖種—その出現と消滅……………153
 - 3 南関東以南における温暖種……………156
 - 4 東北地方における温暖種……………158
 - 5 北海道における温暖種……………160

貝が語る縄文海進―南関東、十²°Cの世界 増補版

平成十八年十二月二十日 第一刷発行

平成二十二年九月十五日 増補版第一刷発行

著者 松島義章

発行者―松信 裕

発行者―株式会社 有隣堂

本社 横浜市中区伊勢佐木町一―四―一 郵便番号二三一―八六二三

出版部 横浜市戸塚区品濃町八八―一―一六 郵便番号二四四―八五八五

電話〇四五―八二五―五五六三

印刷―図書印刷株式会社

ISBN978-4-89660-208-1 C0244

定価はカバーに表示してあります。

落丁・乱丁本はお取り替えいたしません。

デザイン原案―村上善男